

世界的に活躍されている指揮者の篠崎さんは、県下でも有数の素晴らしい音響設備を持ったわたむきホール虹で、定期的に演奏会を開かれています。それが、「オーケストラ・ムジカ・チエリステ（『甘美な音楽』）」で、平成11年に誕生しました。今年7月5日に開催、ベートーヴェンの「運命」を演奏されます。日野で育ち、日野でしか聴けない本物のオーケストラの響きを届けてくださるその思いとは――。

拝啓

日野町の皆さま

篠崎 靖男さん

(京都府出身)

イギリス・ロンドン在住



▲指揮をする篠崎さん

私は子どもの頃から、オーケストラの音を聴くのが大好きでした。特に、姉がバレリーナということもあり、物心ついた頃から、家の中にチャイコフスキーがいつも流れていましたね。良くステレオに向かって指揮を振り、生でオーケストラを聴いた後、家に帰ってもドキドキするような子どもでした。私の時代は、受験競争の時代で、心を癒してくれたのが音楽だった、その辺りから、音楽から離れられなくなりました。

「生のオーケストラを聴く機会が少ない場所に、最高のオーケストラを！」と、しがぎん経済文化センターにお話したところ、日野町が私のポリシーを深く理解してくださり、日野で演奏会をしていくことになりました。こうしてムジカ・チエリステが、一つの文化として日野で花開いたのです。

観客の方々は集中力が高く、とてもレベルが高いと思います。そして人々が、とても落ち着いて生活なさっていること。これは、西洋音楽にとっては、とても大事な要素なのです。ヨーロッパの人々は、忙しい中でも、自分の時間をとても大切に静かに過ご



▲中国公演ツアーで仲間と一緒に (写真右)

し、その時間にコンサートに行かれます。日野は、音楽を鑑賞するのに恵まれた環境だと思えますし、演奏する方も、音楽に集中できる場所です。これはとてもまれで、貴重なことなのです。

オーケストラと、とても熱心な日野町のスタッフとサポーター、そして素晴らしい聴衆の方々と一緒にコンサートを制作することが出来る場所が日野なのです。音楽家にとって、このような場所があることはとても幸せなことですし、これからも大切にしていきたいと思っています。

毎回演奏会には同じメンバーが、楽しみに集まります。普段別のオーケストラで演奏しているの、いつもとは違うメンバーで音楽をとことん突き詰め、新しい発見もたくさんある。だからこそ、音楽

をやっている醍醐味なのです。前回の公演の際に気づいたのですが、コンサートホールの周りの良く手入れされた美しい田舎の風景、その向こうに広がる美しい自然、気持ちの良い人々。そんな中で演奏できる喜びも、大きな理由のようです。これほどまでに、集中した演奏をするオーケストラは、世界でもなかなかあるものではありません。本当に素晴らしいオーケストラに育ってきたと思います。



▲ロサンゼルスでの演奏会で指揮をする篠崎さん

☆今月「キラリ人」はお休みです。今回新たに「拝啓 日野町の皆さま」というコーナーを設けました。広く活躍され、日野を温かく見守ってくださる方にお話をお伺いし、手紙形式でご紹介していきます。改めて日野の良さを気づくきっかけとなるコーナーになればと考えています。